

3 子供の安全対策について

課題 保育園、小中学校の周辺や通学路（交差点など）の防犯体制の強化や、地域ぐるみで登下校時の子どもの安全を守る意識を高める必要がある。

- 提言**
- ①小中学校内には一部防犯カメラが設置されているが、保育園、小中学校の周辺や通学路（交差点など）にも設置すること。
 - ②登下校時の「ながら見守り」活動の啓発、地域での見守り意識を高めること。

これに対して町の回答は…



- ①学校敷地外での使用はプライバシーへの配慮など慎重な運用が必要とされる。地域での見守り活動が何より重要であると考え。また、保育園は敷地内における不審者対策の強化が必要と考え、令和3年度中に保育園敷地内に防犯カメラを設置する。
- ②地域と学校が連携し見守り体制の強化や活動協力の啓発に努める。また、保育園は令和2年3月に策定した第2期「那須町子ども子育て支援事業計画」に基づき、保育園付近での散歩等の園外活動等の安全を確保するためキッズゾーンの設定を推進していく。



小学校裏門を監視する防犯カメラ

4 ICT教育の推進について

課題 今年度、児童生徒にタブレット一人1台体制が整うが、更に効果的なICT教育を推進するため、教育環境を整備する必要がある。

- 提言**
- ①ICTや電子教科書を活用した授業への転換を図ること。
 - ②タブレットの有効活用を図るため、電子黒板を各クラスに配備すること。
 - ③児童生徒や教員がICTを活用出来るようにサポート体制を整備すること。
 - ④タブレットのブルーライトから目を守る対策を行うこと。
 - ⑤児童生徒、保護者、教員のコミュニケーションツールとしての利活用を図ること。
 - ⑥町立図書館に電子書籍を整備し利用できる体制を作ること。



町立図書館1階

これに対して町の回答は…



- ①タブレット端末活かした授業への転換のため、既に研修会、教員間の情報共有の場を設定し、引き続きICT活用に積極的に取り組む学校の後押しをしていく。また、学習者用デジタル教科書は、学校教育法で授業時間数の2分の1未満しか使用できないという制約があり、今後も国の動向を注視し効果的な導入について検討していきたい。
- ②大型モニターとタブレット端末を接続することにより電子黒板同等の活用ができ、既存機器を効果的に利用し各クラスへ必要なICT機器を配備できると考える。
- ③ICT支援員の派遣時数の拡大等や、児童生徒の操作支援やモラル教育等を行う。また、機器増加に伴って維持管理が煩雑化しないよう、教員の負担軽減を図る。
- ④本町で導入しているものは、画面の色を暖色系に自動的に切り替えられる機種であり、ブルーライトを軽減することが可能である。
- ⑤今後は児童生徒・教員用のコミュニケーションツールとして運用を進め、有効的なソフトウェアの活用方法等について情報提供と運用支援を行う。
- ⑥図書館利用者のニーズと、電子書籍サービスを導入した自治体の有効面等を把握し、これからの図書館サービスの在り方を検討する。